

# 広報ぬまた Numata 7

広報ぬまた

2023.7.13

Vol.671

## 雪は新しいエネルギー



6/29 沼田小学校利雪学習特別授業

### 今月の主な内容

- ★町政執行方針・・・・・・・・・・ 2
- ★教育行政執行方針・・・・・・・・ 6
- ★令和5年度主要事業・・・・・・・・ 8
- ★ふるさと納税実績：・・・・・・ 12
- ★まちレポ・・・・・・・・・・・・・・ 14
- ★北空知広域水道企業団・・・・・・ 21
- ★まちの財政状況・・・・・・・・・・ 22
- ★沼田警察庁舎から・・・・・・・・ 25
- ★沼田消防から（消報）・・・・・・ 26
- ★ふれあいインフォ・・・・・・・・ 27
- ★生涯学習ゆめっくる・・・・・・・・ 28
- ★図書館バックヤード・・・・・・ 29
- ★機構図・・・・・・・・・・・・・・ 30
- ★まちの話題と人の動き・・・・・・ 32



鉄道は北海道の礎、未来へつなごう先人の思い

JRに乗り続け隊サポーターを募集しています！  
JR留萌本線を中心に利用促進活動や関連イベント等の情報を発信しています。

■お問合せ 産業創出課 ☎35-2155



# 令和5年度 町政執行方針概要



## 町長 横山 茂

6月21日に開会された第2回定例会で、横山町長が令和5年度の執行方針について述べました。

今回の広報では、その主要な部分を掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務財政課までお問い合わせください。

町長に就任し、9か月後に新型コロナウイルス感染症が道内で確認され、1期目の大半は、町民皆様の「生命と健康」及び「暮らし」を守ることを最優先にまちづくりに取り組み、この度の再選と時を同じくして感染法上の分類が変わり、改めて町民皆様からの期待と職責の重さに身の引き締まる思いであり、初心を忘れることなく、町民皆様と共に「笑顔があふれる小さな町の大きな挑戦！」をスローガンに、明日の明るい未来を創り上げるため、「オールぬまたで輝かそう！ぬまたの未来！」を合言葉として、町政執行のかじ取り役を全力で担わせていただきますので、町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

### ○沼田町第6次総合計画 後期計画について

第6次総合計画の前期4年間が経過し、後期計画の策定にあたりましてはこれまでの取り組みを検証し、社会情勢の変化や地域独自の課題解決のための方向性を整理し、第2期総合戦略などとの整合性を図った上で、8つの重点施策を最優先施策とし、町の将来像の実現に向け取り組みを加速化してまいります。

- 1 農業を守る！
- 2 産業を創る！
- 3 子育て環境の充実！
- 4 学力アップと生きる力を向上！
- 5 健康寿命をアップ！
- 6 公共交通を繋ぐ！
- 7 地球環境に貢献！
- 8 コンパクト&健全財政の実現！



## ○農業振興について

スマート農業の活用による生産性の向上とともに、輸出や付加価値向上による新たな販路開拓など現在の情勢を踏まえた上で将来の姿について、改めて行政・JAなど関係機関職員による検討を行うこととし、並行して昨年度から取り進む稲作経営超低コスト化体質強化事業により、本町に適した新たな技術導入などについて検討及び実践に向けた情報共有・気運醸成を農業者皆様とともに進めてまいります。

本町における農地流動化は、農業委員会など関係機関団体のご尽力により現在は順調に推移しておりますが、今後の農業を取り巻く情勢や後継者問題などを考慮すると、更に厳しさを増すことが懸念されることから、ぬまたアグリファームによる第三者継承も視野に入れた新規就農者確保対策などについて取り進めるとともに、農地を取得しようとする農業者の経済的負担の軽減を図り、今後における農地流動の円滑化と本町農業

の競争力強化を確立します。

また、本町農業の担い手確保対策として、新たに農業に従事される方の経済的負担の軽減のため、農業従事者に必要となる免許取得経費の一部助成について、中山間地域等直接支払制度推進協議会による制度として取り組み頂くこととしております。

## ○スマート農業の推進について

労働力不足やコスト削減といった地域農業の課題解決にはスマート農業の推進が急務であり、本町では国の「スマート農業産地形成実証事業」に取り組む道内大学、スマート農業機器メーカーや生産者などによる実証グループに本年度も継続して参画し、実装に向けての課題検証を進めるとともに、その結果を「沼田町スマート農業研究会」と連携し取り組んでまいります。

## ○商工業の振興について

商工業の振興、発展及び商店街の活性化を図るため「沼田町商工業活性化チャレンジ事業」を創設し、商工会自らが商店街の活性化のため誘客の実践にチャレンジする事業などの支援を行い、また、町内における店舗維持と魅力ある商業環境を持続させるため、後継者や第三者に対して事業を継続・承継していくための支援や、起業及び商品開発等への支援を行う「事業継続・魅力向上ぬまた活性化支援事業」を創設し、商工業の持続的発展と活性化を図ってまいります。

## ○新たな魅力創出チャレンジについて

JR留萌本線の留萌から石狩沼田間が3月末で廃止となったことに伴い、石狩沼田駅が終着駅として一定の廃線需要があることから、「石狩沼田駅前周辺活性化事業」としてチャレンジ屋台村（駅前横丁）や記念グッズ等の商品開発、鉄道ミュージアム開設に向けた資

料収集等を行い、駅周辺及び商店街が活気あふれる魅力的なエリアとなるよう着手してまいります。

## ○観光の振興について

本町の魅力ある豊富な地域資源を有効活用しながら、観光協会においてSNSなどを活用した観光情報の発信強化と、対面での催事などへ積極的に参加することとし、また、「株式会社まちづくりぬまた」が経営体質強化を目指すため、地域商社化（着地型観光（旅行業）構築に向けた取り組みを進めることから支援することとしております。



# 令和5年度 町政執行方針概要

## ○新たな企業誘致戦略について

昨年度策定した、企業誘致戦略を基本にオンラインを活用した企業誘致に取り組み、フォームマーケティングで有意回答のあった企業に対し「オンライン相談会」や「まちの見学ツアー」を開催し、町の強みや地域力を実感していただく、「新たな企業誘致戦略に基づくサテライトオフィス等誘致推進事業」実施していきます。

## ○そらち自然学校について

4月からグランドオープンし、地域おこし協力隊3名が運営法人

に所属してアクティビティやイベント、森づくり等に取り組んでいるところであります。

本町の地域資源を活かした稼働力や、企業やノマドワーカーとの交流によるイノベーション、沼田式森づくりに対して共感を促す賛助会員の募集や教育旅行のPR等に取り組みることとしており、町としても全面的にバックアップしながら「ほろしん温泉ほたる館」「化石体験館」と連携した相互の利用促進に加えて、小平・幌加内・沼田3町広域振興協議会において、スケールメリットや豊かな自然と豊富な地域資源を活かしたアクティビティを最大限に引き出し、北海道の「アウトドアの聖地」として国内外に発信できるよう検討してまいります。

## ○母子の健康づくりについて

新たな子育て支援事業として、24時間365日スマートフォン等で医師に相談できる「伴走型支援子育て相談オンライン」を、4月から開始しておりますが、更に、

母子健康手帳の電子化と母子保健・子育て支援のDX化を図るため「母子手帳アプリ」を導入し、タイムリーな子育て情報の受信や、予防接種AIスケジューラーなど、ICTを活用することにより、子育て世代のニーズに沿ったサポートに努めてまいります。

## ○子育て家庭の負担軽減について

子どもの心身の健やかな成長を社会全体で支援する取組みの一環として、小中学校の給食費を無償化し、子育て家庭の負担軽減を図ってまいります。

## ○木育事業について

本町の将来を担うお子さんの誕生を祝い、乳幼児期から木製品に触れることにより本町の豊かな森や自然に対して親しみや関心、愛着を持っていただくとともに、木製品の利用は健全な森林環境の保全によるゼロカーボンの推進にも繋がることから、森林環境譲与税を財源とした基金を活用し木製玩具と食器を贈る木育事業に取り組

んでいきます。

## ○子育て環境の充実に ついて

地域での子育ての助け合いを行う「沼田町ファミリーサポートセンター事業」につきましては、安心して子育てができる環境の向上のため事業の充実に取り組み、「子育て交流広場（えがお）」は、子育てに関する相談や子どもの遊び場、保護者同士の交流の場として、また、地域子育て支援センター事業の実施やファミリーサポートセンターの拠点施設として効果的な活用を図り、利用しやすい施設運営を目指してまいります。

沼田認定こども園につきましては、保護者の方々が安心して子どもを預けることができる「質の高い保育・幼児教育」の向上を実現するため、適切な人員配置による保育士の増員における支援・協力を行うとともに、沼田町学童保育所につきましても、地域の方々と連携した中で児童の健全育成に努めてまいります。

## ○移住・定住の推進について

本町の人口動態は社会増減による人口減少はくい止められているものの、加速する少子高齢化に伴う自然減により人口減少は緩やかに続いております。

移住定住の推進を目的とした「沼田町住んで快適住まいる応援条例」は令和5年3月31日をもって失効いたしました。これまでの制度を拡充した条例の提案及び、高校生における経済的負担を支援する「がんばる高校生応援手当」、町内在住の方が孫の移住を促す「孫ターン奨励金事業」育ち盛りの小中高生がいる世帯に雪中米1俵を提供する「ぬまたライフサポート事業」など移住・定住を促すための事業を実施します。

## ○地域公共交通検討・利用促進事業

JR留萌本線全線廃止後の持続可能な公共交通とまちづくりを構築するため、ワークショップや各種団体等から意見収集を行っている

ところです。

バス転換（沼田・深川線）については、通学・通勤・通院などの生活交通としての利便性を維持できるよう沿線自治体、JR北海道、バス事業者、北海道と協議を進めており、バス事業者の経営状況や運転手・整備士の不足、車両の老朽化等、様々な課題を抱えている状況にあります。朝夕の通学特急便の確保や「日中のデマンド運行と車両の小型化」等、あらゆる持続可能な運行スタイルを協議・要請していくとともに、廃線後の利用支援策として「通学費支援制度の創設」や「バス・JR通し定期と特急利用」、「新規バス路線（旭川直行便）」等、国・北海道に対しても強く要請してまいります。

## ○ほたる館の運営

今年4月8日から、新たな指定管理者である「株式会社第一賣亭留」の営業がスタートしており、新たな観光の方向性を見極めつつ、「そらち自然学校」、「化石体

験館」等が行う事業など各種事業との連携を深化させ、集客に向けた努力を指定管理者と共に継続してまいりますので、町民の皆様にもなお一層のご愛顧をお願い申し上げます。

## 結びに

世界的な潮流に加え、人口減少が及ぼす地域社会・地域経済の衰退が懸念される中で、本町独自の地域課題も複層化しており、このことは本町のみならず多くの地方自治体が抱えているものであり、正に自治体間の知恵比べの時代と捉えつつも「競争」と「共創」を意識し「新たな視点」「新たな創造」をもつて、オールぬまたで「共創協働のまちづくり」に努めてまいります。

また、明年は「沼田喜三郎翁」が18戸の開拓者を率いて、大きな希望と明日への夢を託したこの地も130年の記念すべき年を迎えます。

改めて、先人のご労苦に感謝と敬意の念を捧げ、今日まで築かれ

た礎のもと100年後を見据えながらも、しっかりと足元を見つめ、着実にしかも大胆に様々な知恵を結集して挑戦してまいります。ご協力をお願いします。

町民の皆様のご支援とご協力を重ねて心からお願ひ申し上げます。





# 令和5年度 教育行政執行方針概要



## 教育長 三浦 剛

6月21日に開会された第2回定例会で、三浦教育長が令和5年度の教育行政執行方針について述べました。

今回の広報では、その主要な部分掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務財政課までお問い合わせください。

教育委員会では令和5年度から、今後10年先を見通した教育の目指すべき姿を示す「第2期沼田町総合教育計画（沼田ならではの学びの好循環の創造）」を策定しました。第1期計画の基本理念を継承しつつ、変化が激しく予測困難な時代にあってもその情勢や課題に対応できる人財を育成するための教育施策を推進してまいります。

新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活様式や社会情勢などに大きな影響を与えてきました。が、持続的に児童生徒などの教育を受ける権利を保障していくため、学校における感染及びその拡大リスクを可能な限り低減しながら、

ら、学校運営を継続してまいります。5月8日に感染症法の位置づけが5類感染症に移行されたことに伴い、国の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」が改正され、引き続き学校における基本的な感染症対策を継続するとともに、家庭との連携を図りながら、日頃からの対策を徹底してまいります。

また、ICTを活用した新たな教育スタイルの構築に向けた、授業実践の普及に努め、子どもたちが変化する社会の中で主体的に生き抜くことができるよう、地域社会に貢献する人財を育成する教育を進めてまいります。

生涯学習の推進については、町民一人一人が生涯を通じて学び続け、豊かさを実感できる充実した生活を送るためには、確かな知識と教養を身に付けることが必要です。仲間づくりを通じて生きがいのある生活を実現するとともに、継続的にスポーツに親しむことができる環境づくりを進めてまいります。

## ○小中一貫校「沼田学園」

「沼田学園」は、これまで沼田の子が夢や希望の実現に挑戦し、心豊かにともに支え合いふるさと沼田に誇りを持ち、たくましく成長してほしいとの願いのもと教育活動を進めてきました。

小中一貫型小学校・中学校であること、施設形態が施設分離型であることの効果や課題を検証しながら、組織的な対応を進めてまいります。そのために、学校運営協議会をはじめ学校・家庭・地域の連携・協働のもと、これまでの成果を生かしながら、学園における組織体制・指導体制の更なる充実を図り、義務教育における、子どもたちの心身の発達段階に応じたきめ細やかな指導を進めます。

## ○学力向上対策の推進

学力向上のため、全国学力・学習状況調査やNRT標準学力検査の結果から、「思考・判断・表現」に課題があることが判明しています。課題を解決するために、主体的・対話的で深い学びの視点からの組織的、計画的な研修体制の充

実を図り、教職員個々の授業力向上、授業改善に取り組みとともに、一人1台配布されたタブレットパソコンなどを活用し、個別最適な学習を進めてまいります。

町内での学習機会の確保のため「沼田町公設塾（みらい）」を活用しながら、引き続き学力向上の取り組みを進めてまいります。

## ○ふるさと教育やキャリア教育の充実

沼田町は先人のためめぬ努力により、北国の厳しい条件を克服しながら発展してきました。その先人のフロンティア精神を継承しつつ、ふるさと沼田への愛着や誇りを育むため、小学校の授業においてそらち自然学校に専門的なプログラムを担っていただきながら「自然体験授業事業」を実施し、非認知能力など生きる力を育成するなど、沼田ならではの教育を進めます。

## ○国際・地域間交流

子どもたちの豊かな国際感覚の醸成や語学力、コミュニケーション能力を育むため、海外の生活や文化に触れることは重要でありま

す。新型コロナウイルス感染症の影響で実施できていなかったポーターデー地区への訪問団派遣事業を、訪問する機会が得られなかった高校3年生まで対象を拡大し、引率を含めて15名の派遣を決定したところです。交流事業を通じてお互いの文化、習慣、価値観などを理解しあい、異なる文化や生活習慣を持つ人々と協働して、生きていく力の育成につなげてまいります。

## ○豊かな人間性の育成

沼田町の豊かな自然の中で共同生活をする中で、常に五感から様々な刺激を受け、普段体験することができない野外活動を通じて生きるための知識や技術を身につける「自然体験キャンプ」は、「そらち自然学校」に委託して、専門的なプログラムにより、効果的に取り組んでまいります。

## ○山村留学など

未来の関係人口・交流人口の創出に向けて、都市部の小・中学校の児童生徒が、豊かな自然や人間関係の触れ合いなどを通じた体験

教育を目的として、「住民票を移動せず転校」できる仕組みである2地域居住による「区域外就学制度」を活用しながら、沼田の小・中学校に通学する山村留学などの導入に向けた調査・検討を進めてまいります。

## ○社会教育施設

化石体験館については、化石の体験メニューなどを提供し、貴重な太古の資源を町内外に広く発信してまいります。本年はオープンから15周年を迎えたことから、夜間に特別に開館して夜の海をイメージした「ナイトミュージアム」を特別企画として実施いたします。

## ○物価高騰の影響に伴う給食費の支援

エネルギー・食料品価格などの物価高騰に伴い、保護者の経済的負担が増加していることから、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、6月からの学校給食費を全額助成して保護者負担の軽減を図ってまいります。

## 1. 農業を守る！

### ■農地流動円滑化支援事業【新規】2,206千円

本町における農地流動化は順調に進んでおり1経営体当たりの経営面積約25ha、うち水田面積約20haを超える経営状況にありますが、経営規模拡大に伴い施設整備などの新たな設備投資などによる負担増が懸念されることから、本町農業の持続的発展と遊休農地化を防ぎ、効率的な営農を継続するため新たな流動化対策を実施します。

### ■加工用トマト拡大推進事業【新規】340千円

加工用トマトの認知度向上・消費拡大による農業所得に更なる向上、また加工用トマト生産日本一のまちを目指す取り組みとして北海道加工用トマト生産拡大協議会と連携したPRイベント、体験型事業の開催、SNSを活用した情報発信を行い加工用トマトの普及啓蒙を図ります。

### ■新規就農サポート事業(中山間事業) 【新規】300千円

沼田農業の持続的、安定的な発展を図るため、新たに就農する方が必要とする資格取得に要する経費の一部を助成します。



## 2. 産業を創る！

### ■事業継続・魅力向上めまた活性化支援事業【新規】5,000千円

魅力ある住みやすいまちづくりを促進するため、店舗の新築や空き家店舗等を活用した新たな商業活動、起業や商品開発等への取組、まちおこし事業や自主的・継続的なまちづくりの取組、事業を継続するための取組へ費用の一部を助成し、まちの活性化を図ります。

### ■沼田町商工業活性化チャレンジ支援事業【新規】5,000千円

沼田町内に所在する中小企業の振興、発展及び商店街の活性化を図るための事業に対して支援を行い、経営の安定維持及び商店街の活性化の促進を図ります。

### ■沼田町ワーケーション推進事業【新規】500千円

ほたる学習館のワーケーション施設としての整備が完了し、また、令和5年度から「そらち自然学校」が本格オープンしたことに併せて、観光誘客や修学旅行生などの教育旅行誘客などを行う絶好の機会であることからワーケーション施設の利用促進に向け、PRを実施します。



# 令和5年度予算 主要事業②

## ■新たな企業誘致戦略に基づくサテライトオフィス等誘致推進事業 【新規】2,989千円

新たな企業誘致戦略に基づき、沼田町の強みを活かした形での企業誘致について、分析調査や有意企業獲得を目的とした事業を実施します。

## ■沼田町オリジナルクラフトビール開発事業（収益型PR事業） 【新規】2,100千円

人と人をつなぎ、地域を結び、大きくグローバルに広がっていくというクラフトビールの性質を生かし、普及・開発について住民に参画してもらい、住民が主体性を持ち特産品（クラフトビール）開発を行います。また、町内製造・町内外流通を促すことで、産業創出や商工振興を図るとともに関係人口の拡大に寄与します。



## ■石狩沼田駅周辺活性化事業【新規】 1,413千円

留萌本線の廃線による「廃線需要」をより効果的に捉えた取り組みを推進し商工業発展に寄与するとともに、廃線後の駅を含めた駅周辺の活性化に向けた方策を検討します。

## ■産業クラスター推進事業【新規】3,700千円

企業誘致・雇用対策の新たな戦略として、「農業分野」や「IT産業分野」での共通性・補完性により連結した産業クラスターに向けた企業誘致活動を推進するとともに、「令和版食料貯蔵流通基地構想」「沼田版シリコンスノーバレー構想」の実現に向けた事業を展開します。

## ■沼田町しごと・未来応援プロジェクト町内企業へのバスツアー【新規】 245千円

北海道労働局との雇用対策協定に基づき、道内のハローワークの協力のもと、札幌圏内の求職者に沼田町にきていただいて、沼田町と沼田町内の企業を直接見ていただくことで、就職のイメージをもっていただき、町内企業の求人の充足を図ります。

## ■沼田町にぎわい交流創出事業【新規】 1,500千円

町内各所の施設を活用し、農業や商工業等の分野を結んだイベントを開催することで、町外からの誘客等、様々な人の交流でにぎわう町内の創出を図ります。

## ■地域商社構築事業（まちづくりぬまた経営再構築）【新規】10,000千円

（株）まちづくりぬまたが地域産業を活性化する「地域商社」として自走していきけるための支援を行います。

### 3. 子育て環境の充実

#### ■母子手帳アプリ導入事業【新規】 231 千円

母子健康手帳の電子化と母子保健・子育て支援のDX化により、子育て世代の利便性向上を図ります。

#### ■学校給食費無償化事業【新規】 6,615 千円

子どもの心身の健やかな成長を社会全体で支援する取り組みの一環として、所得によらず、小中学校の給食費を無償化し、子育て世代の利便性向上を図ります。

#### ■初回産科受診料支援事業【新規】184 千円

令和5年度母子保健対策強化事業（こども家庭庁）における新規事業「低所得の妊婦に対する初回産科受診料支援事業」を、町独自に拡大し、全妊婦の初回産科受診料の全額と受診にかかる交通費を助成します。

#### ■おめでとう赤ちゃん～ファーストウッド木育事業～【新規】390 千円

沼田町の将来を担うお子さんの誕生を祝い、乳幼児期から木製品に触れることにより本町の豊かな森や自然に対して親しみや関心、愛着を持っていただくとともに、木製品の利用は健全な森林環境保全によるゼロカーボンの推進にもつながることから、木製玩具と食器を送る木育事業を行います。

#### ■保育士人材確保事業補助金【新規】3,696 千円

認定こども園において、「保育の質向上」と「より安全な保育」を実現するため、保育基準以上の人員配置を行うための人件費を補助することにより、手厚い幼児保育の向上とより一層の子育て環境の充実を図ります。

### 4. 学力と生きる力を向上

#### ■自然体験授業事業【新規】300 千円

ほろしんの森を中心とした沼田町の自然に触れ、まちの自然の豊かさを知り、郷土愛を育むとともに、子どもたちが自然体験を通じて、非認知能力など生きる力を育むため、「そらち自然学校」のプログラムを沼田学園沼田小学校の授業において活用します。

プログラムは「そらち自然学校」に委託し、より効果的かつ専門的な事業を実施します。

#### ■山村留学調査事業【新規】60 千円

「区域外就学制度」を活用し「住民票を異動せず転校」できる仕組みである、いわゆる「山村留学」導入に向けた調査・検討を行います。

## 5. 健康寿命アップ！

### ■(任意)帯状疱疹予防接種事業【新規】 5,275 千円

壮年期以降の帯状疱疹の発症を予防し、健康寿命の延伸を図るため、帯状疱疹ワクチンの接種費用の一部を町独自に助成します。

### ■健診費用助成拡充事業【新規】 302 千円

国民健康保険に加入している方が人間ドック受診の際に、子宮がん、乳がん、前立腺がんの各検診を受けた場合、その一部を助成します。

### ■あるくらす団地 I C T活用健康・見守り事業【新規】 2,035 千円

あるくらす団地の配電盤に電力センサーを取り付け、1分ごとの電力データを基に、個人毎のライフスタイルカルテを作成し、本人及び遠方に住むご家族へお知らせすることで、一人暮らしの高齢者等が安心して住み続けられる見守りの充実を図ります。

## 6. 公共交通を繋ぐ！

### ■地域公共交通検討・利用促進事業【新規】 1,560 千円

町民から公共交通に対する不安や意見などを聞き取り、今後の持続可能な公共交通の構築を検討します。

## 7. 地球環境に貢献！

### ■太陽光発電設置助成事業【拡充】 1,000 千円

自ら居住する持家、又は自ら居住するために建設する住宅、又は同一敷地内に、町内業者により新たに太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成します。

## その他

### ■キャンパスライスプロジェクト 2023【新規】 4,000 千円

物価高に困窮する全国の大学生を対象に、ふるさと納税型クラウドファンディングにより資金を募り、ななつぼし無洗米 2 kg を無償提供し、大学生の生活支援による社会貢献と沼田町産米の P R を図ります。

### ■町内施設等案内看板改修事業【新規】 21,390 千円

町内各所に設置されている施設案内や観光案内の看板が経年劣化により破損や腐食・傾き、文字が消えている等、看板自体の役割を果たしていないものや町のイメージを悪くするものがあることから、新設や現存する看板の必要性を考慮した撤去も含めて、各種看板の改修等を行います。



# ふるさと納税で沼田町が元気に!!

日本中の皆さまから沼田町へふるさと納税いただきました金額は下記のとおりです。

**寄附金額 2億7,316万0,460円**  
**寄附件数 14,068件**

## 寄附額及び件数

当町のふるさと納税金額は、2億7千316万円で、昨年度比15.8%の伸びとなり、さらに寄附件数も昨年度より5,510件増え14,068件となりました。引き続き、様々な手法で寄附額増を目指しています。

## 寄附の受け入れ

役場窓口での受付のほか、インターネットのふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」「楽天ふるさと納税」など5つのポータルサイトで実施しておりますが、令和4年度は更に10個のサイトを増やし、全15個の寄附サイトで実施しているほか、町内温泉施設やゴルフ場でふるさと納税を行うことができる「現地でのふるさと納税」を導入しました。

## お礼の品（返礼品）

お礼の品で人気だったのは「雪中米」で、令和4年度は新たな寄附者獲得のため、ゴルフ場利用券やスキー場のシーズン券のほか、トマトジュースの飲み比べセットやトマト

お試しセットを新たに追加しました。

また、留萌本線（石狩沼田～留萌間）の廃線に伴い、オアシス三駅名標やオモリアルきっぷを加えたところ全国の鉄道ファンからの申込がありました。

## クラウドファンディング

「化石王国めまた」を世界に発信していくために、全国の博物館等で展示してもらった「メタネズミルカ化石の全身骨格レプリカを作成する」「国内屈指の体験フィールド「化石王国めまた」を世界に発信したい」を実施したところ、全国から36件の寄附があり、メタネズミルカ化石のレプリカを作成するための材料費として活用しています。

令和5年度は、新たな寄附サイトの追加や返礼品の追加「キャンパスライズプロジェクト」を実施し、大学生を始め、より多くの方に沼田町を知ってもらおうとかけをやり関係人回の創出などに繋げていきます。

## 企業版ふるさと納税寄付金額

事業	件数	金額
沼田町まるごと自然体験プロジェクト	12件	550万円
夜高あんどん継承事業	1件	10万円

## 年度別寄附額（過去10年）

年度	件数	金額
平成25年度	45件	718万1,216円
平成26年度	1,127件	1,519万0,600円
平成27年度	12,344件	1億9,428万5,226円
平成28年度	19,680件	2億8,514万8,852円
平成29年度	19,699件	3億0,041万7,631円
平成30年度	21,830件	3億3,708万0,000円
令和元年度	9,258件	2億0,945万1,049円
令和2年度	7,287件	1億6,075万6,000円
令和3年度	8,558件	1億7,376万8,120円
令和4年度	14,068件	2億7,316万0,460円

# 令和4年度ふるさと納税活用状況

## ● 寄附金の充当実績

事業名	金額	主な内容
<b>1. いつまでも幸せに暮らせるまちづくり事業</b>	34,646,006 円	
医療・福祉・子育て支援事業	34,646,006 円	子育て世帯への灯油助成や町外へ通学する高校生への交通費助成、乗合タクシーの運行事業等
<b>2. にぎわいのあるまちづくり事業</b>	12,865,892 円	
まるごと自然体験事業	6,483,317 円	そらち自然学校に係る経費
特産品（クラフトビール）開発事業	3,336,017 円	新たな特産品の開発に係る経費
にぎわい創出事業	1,167,226 円	にぎわい創出イベント経費
行政ポイント事業	1,648,332 円	行政ポイントの付与に要する経費
関係人口創出アドバイザー事業	231,000 円	関係人口アドバイザーの招へいに要する経費
<b>3. 希望を育むまちづくり事業</b>	20,831,497 円	
沼田学園運営事業	20,831,497 円	沼田学園の運営経費
<b>4. 安心・安全に暮らせるまちづくり【安心・安全・環境】</b>	2,002,394 円	
環境美化・保全事業	1,074,699 円	市街地の花壇やプランターに花の植栽を行う事業や、雪を利活用する「利雪」への取り組みや研究事業
輝け雪のまち宣言20年記念事業	927,695 円	輝け雪のまち宣言20年記念事業に係る経費
<b>5. 町民とともにつくるまちづくり事業</b>	0 円	
<b>6. JR留萌本線利用促進に関する事業</b>	1,018,300 円	
JR留萌本線応援事業	1,018,300 円	イベント等によりJR留萌本線の利用を促進する事業
<b>7. その他目的を達成するために町長が必要と認めた事業</b>	82,632,211 円	
商工観光振興事業	10,197,272 円	中小企業への利子補給や、観光PR事業
小矢部市姉妹都市交流20年事業	844,798 円	小矢部市姉妹都市交流20年記念事業
シン・再会の塔応援事業	50,000 円	沼田中学校卒業後10年で行う再会の塔事業のさらに10年、20年、30年後も沼田町に集い、仲間と交流を深める事業の助成に要する経費
野球場照明改修事業	1,617,000 円	農村公園野球場の照明の改修経費
移住定住応援事業	6,508,588 円	移住PRや定住促進事業
ほろしん温泉町民優待事業	12,025,000 円	ほろしん温泉の町民優待事業
雇用促進・人材育成事業	4,494,009 円	キャリア教育を目的とした事業や介護人材、保育人材の確保に係る経費
新エネルギー導入事業	2,000,000 円	再生可能エネルギー設備等の導入支援事業
子育て支援・教育推進事業	44,895,544 円	認定こども園の無償化事業やスクールバスの購入費等に係る経費
<b>8. ふるさと納税型クラウドファンディング</b>	2,460,000 円	
ヌマタネズミルカレプリカ作成事業	1,212,000 円	ヌマタネズミルカのレプリカの作成に係る経費
トイレトレーラー整備事業	1,248,000 円	トイレトレーラーの起債の償還費
合計	156,456,300 円	



5 / 今年の学習テーマは「交通」

## 29 いきいき大学開講式

令和5年度いきいき大学の開講式を5月29日(月)ゆめっくるで行いました。

開講式には21名が参加し、吉田教育長から「いきいき大学が笑顔の絶えない有意義な時間になることを願っています」と挨拶があり、1回目となる講演は「留萌本線の廃止に伴う交通の将来について」をテーマにグループワークを交えながら、交通の将来について説明を受けました。



6 / 交通事故死ゼロ4,000日へ

## 1 夜高パトロール隊出動式

夜高パトロール隊(石田隆広総隊長)が交通事故死ゼロ4000日を目の前に、事件・事故の発生を防ぐため6月を特別警戒月間として指定し、6月1日(木)街頭啓発の出動式をゆめっくる駐車場でを行いました。

出動式には、夜高パトロール隊員や市内第5地区のぬまたっ子サポーターなど14名が集まり、石田総隊長は「6月に交通事故死ゼロが4000日を迎えようとしています。4000日達成と5000日

に向けてさらに日頃のパトロールを強化していきましょう」と激励し、深川警察署沼田警察庁舎の畠山浜之地域係長から「6月の特別街頭啓発ありがとうございます。皆様の街頭啓発が無事故に繋がっているのです。これからも街頭啓発へのご尽力よろしくお祈いします」と挨拶がありました。

その後、隊員らはそれぞれの場所に移動し子ども達の通学を見守りました。



6 / 美味しく育てね!

## 6 小学4年生 食育体験学習

沼田小学校(吉田純一校長)4年生が食育体験学習を行いました。

毎年、行われているこの体験学習は、町内の農業女性グループ「農天気の家(藤村富士子代表)」が主催しており、今年は3チームに分かれて植木千鶴さんの畑にトマト、堀直美さんの畑にカボチャ、辻よし子さんの畑にトウモロコシを植えていきました。

今後は7月に今回植えた野菜の生育観察をし、9月に収穫作業と収穫した野菜でピザ作り体験を行う予定となっております。





## 6 / 今年で15回目の訪問

# 7 ポートハーディ訪問団結成式

平成6年から姉妹都市提携を結んでいるカナダポートハーディ地区への訪問に向け、「ポートハーディ訪問団結成式」が6月7日（水）ゆめっくろで行われました。

7月12日～20日で訪問する予定で、新型コロナウイルスの影響で訪問することができなかった高校3年生から中学1年生11名、通訳、引率あわせて15名での訪問となります。

結成式で、訪問団長の横山町長は「来年で姉妹都市提携から30周年となります。文化や語学を学び自分の世界を広げるチャンスだと思ってチャレンジしてほしい」と挨拶し、団員からは「日常生活での会話を意識しながら、文化の違いなどを勉強したいです」など、決意を一人一人述べました。



## 6 / オールぬまたで「奉仕の心を」

# 11 沼田ライオンズクラブ認証60周年記念式典

沼田ライオンズクラブ（生沼篤司会長）の認証60周年記念式典が町民会館にて開催されました。

沼田ライオンズクラブは、昭和37年に結成され、毎年交通安全の啓発や環境美化活動等を行い、令和4年には、沼田小・中学校へ大型スクリーン寄贈するなど、地域に密着した奉仕活動を展開しています。

記念式典には、会員やスポンサークラブの深川ライオンズクラブ会長ら約90名が出席し、節目を祝いました。生沼会長は「環境美化や青少年の育成など積極的に活動してきました。今後もオールぬまたの一員として“奉仕の心”をさらに高めながら地域を盛り上げたい」と挨拶されました。



## 6 / ゼロカーボンシティの実現に向けて

# 12 Terra Motors 株式会社と連携協定を締結

E V（電気自動車）をもっと身近にすることを目指して、E V充電インフラを提供するTerra Motors株式会社（東京都港区）とゼロカーボンの実現に向けて6月12日（月）「持続可能な地域づくりに関する協定」を締結しました。

締結式で横山町長は「雪を活用した取組を20年以上行っている。ゼロカーボンに向かって様々な分野で取り組んでいきたいと思っています」と話されました。



## 6 / 町内の観光地を見学しました 18 沼田町謎解き観光バスツアー

観光地を沼田中学校（里舘幹彦校長）の生徒に楽しく学んでもらうため、昨年に続き沼田町観光協会が主催し、沼田町謎解き観光バスツアーが6月18日（日）開催されました。

今回は、中学生6名が参加し、本願寺駅通やホロピリ湖など、町内の観光地を宝箱に繋がる謎を解き明かしながら楽しく巡りました。

ツアーの最後は、ほろしんの森で羊と触れ合ったり、バーベキューで美味しいお肉を食べて、大満足の様子で観光地を振り返っていました。

参加した中村浩くん（中学2年生）は、「沼田に住んでいても知らない場所や行ったことのない場所に行くことができ良かったです」と話されていました。



## 6 / 沼田町から2社が参加 21 北空知合同企業説明会

次世代人材確保対策協議会（深川市・深川市商工会議所・北空知信用金庫・深川建設業協会）が主催する北空知合同企業説明会が6月21日（水）拓殖大学北海道短期大学で行われました。

高校生以上が対象で行われた説明会には、北空知管内の企業29社が集まり、沼田町からは（株）菱農と（株）第一寶亭留ほろしん温泉ほたる館の2社が参加しました。

来場した学生や生徒は、自分が気になる職種のブースに座り企業の説明を真剣に聞いていました。

（株）第一寶亭留ほろしん温泉ほたる館の説明を聞いた長登有美さん（旭川明成高校3年生）は「泊まるだけでは知ることのできない仕事を知ることができて勉強になりました」と話されていました。



## 6 / たくさんアドバイスをいただきました 24 陸上自衛隊第2音楽隊が吹奏楽部を指導

旭川市を中心に活動している陸上自衛隊第2音楽隊の隊員8名が6月24日（土）沼田中学校（里舘幹彦校長）を訪れ、吹奏楽部員10名へ演奏指導を行いました。

昨年も行われたこの演奏指導は、生徒たちが各パートに分かれ楽器の基礎練習から、演奏のコツなど詳しく教えてもらい、時には質問しながらそれぞれの楽器を練習しました。

南茂柵哉部長は「自分たちが苦戦していたところなどを丁寧に教えていただきありがとうございました。コンクールでは教えていただいたことを意識して演奏します」と感謝の言葉を伝えました。





## 6 / 優勝目指して全カプレー

# 25 第41回全町ミニバレーボール大会

第41回全町ミニバレーボール大会（主催 沼田町スポーツ協会）が6月25日（日）、町民体育館で開催され、町内のミニバレーボールチームが7チーム参加し、総当たり戦で行われました。

開会式で伊藤淳スポーツ協会長は「ケガをしないように気を付けて楽しく優勝目指して頑張ってください」と選手たちを激励しました。

どの試合も白熱したラリーが繰り広げられ、6戦全勝で町内の仲の良い親子らで結成されている「スプラッシュ」が優勝しました。

優勝 スプラッシュ 2位 ライジングさん 3位 オレンジブルー



## 6 / 人と自然の融和を目指して

# 28 旭川トヨペットふれあいグリーンキャンペーン

旭川トヨペット株式会社の遠藤穰代表取締役社長らが6月28日（水）役場を訪れ、ふれあいグリーンキャンペーンの一環で、エゾヤマザクラの苗木を寄贈しました。

この活動は、トヨタ自動車株式会社が人と自然との融和を目的に、毎年全国で環境保全活動を行っているものです。

平成25年から苗木を寄贈いただき、今年で10回目になることから、横山町長から遠藤社長へ感謝状を贈呈し「長年にわたり環境保全活動を推進いただきありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。



## 6 / 商工会女性部・青年部

# 28 チャリティビールパーティー

沼田町商工会女性部（三浦実希部長）・青年部（木村拓哉部長）が主催するチャリティビールパーティーが6月28日（水）町民会館で開催され、約250名が集まりました。

開催にあたり三浦部長は「時間の許す限りビールを飲んでたくさん話して楽しんでください」と挨拶され、吹ガールズによる演奏やビンゴ大会、大型テレビや自転車が当たる大抽選会が行われ会場は、大盛り上がりでした。





6 / 新規就農者を激励

## 29 北いぶき農業協同組合新既就農者激励会

北いぶき農業協同組合（黒田洋一代表理事組合長）新規就農者激励会が6月29日（木）秩父別本所で行われました。

これは毎年、北いぶき農業協同組合管内で新たに就農した方々を激励するもので、沼田町からは青木玲王さんが参加しました。

黒田組合長は新規就農者に「農業者が高齢化で減少している中で後継者はとても貴重な存在です。地域の活性化に繋がるよう頑張ってください」と激励し、沼田町から参加した青木さんは、「今までの経験を活かしながら農業の発展に尽くしたいです」と力強く話されました。



6 / 沼田小学校利雪学習特別授業

## 29 雪は新しいエネルギー

スノークールライスファクトリーの雪冷房システムの設計・指導をいただいて以来、雪利用の取組みに長年ご協力いただいている、室蘭工業大学の媚山政良名誉教授が6月29日（木）沼田小学校（吉田純一校長）6年生を対象に「雪は新しいエネルギー」と題し、利雪学習特別授業を行いました。

媚山名誉教授は特別授業で「雪は米の貯蔵などに利用できるほか、CO<sub>2</sub>の排出を抑えることができ環境に優しい」や地下資源などが今後減ることが予想されている中「新エネルギーとして太陽光や風力だけでなく、これからは雪の利用についても考えてみてほしいです」と話されました。

児童たちは授業後「雪でCO<sub>2</sub>の排出を抑えることができることにびっくりした」など友達と感想を話し合っていました。



6 / 花卉の出荷作業を体験しました

## 30 元気村・夢の農村塾農業体験

北空知の市町で構成される元気村・夢の農村塾（村上はるみ塾長）が農業体験の受け入れを行い、大阪府の高校生44名が北空知を訪れ、沼田町では8名の生徒を受け入れました。

受入先の一つである石田隆広氏宅では3名の学生が花卉の出荷体験を行い、「貴重な体験ができて良かったです」と普段することのできない農業体験を楽しんでいました。



# 吉住淳男氏が藍綬褒章を受章



沼田町商工会長としてご尽力いただいている吉住淳男氏が長年に渡り商工業の振興発展などに寄与した功績が称えられ、令和5年4月29日藍綬褒章を岸田文雄首相より授与されました。

6月2日（金）、役場へ報告に訪れた吉住氏に横山町長は「長年商工会長として、中小企業振興の発展にご尽力いただきありがとうございます。」と話し、吉住会長は「これからも沼田町の中小企業振興のため取り組んでいきたいと思っています。」と述べられました。

## 表彰

### 吉田憲司氏が全国町村教育長表彰を受けました

吉田憲司氏が平成28年10月から令和5年5月まで6年7カ月の間、教育長として教育行政の振興に多大なご尽力をいただいたことが称され、全国町村教育長会（二見吉康会長）から全国町村教育長表彰を受け6月29日（木）横山町長より伝達されました。

伝達式で横山町長は「長年に渡り教育長として沼田町の教育の振興にご尽力いただきありがとうございました」と話されました。



## 表彰

### 小西克典氏が全国市町村教育委員連合会表彰を受けました

小西克典氏が平成23年7月から令和4年3月まで10年8カ月の間、教育委員として教育行政の振興に多大なご尽力をいただいたことが称され、全国市町村教育委員会連合会から全国市町村教育委員連合会表彰を受け6月29日（木）横山町長より伝達されました。

伝達式で横山町長は「10年以上も教育委員としてご尽力いただき、教育行政の発展に力を貸していただきありがとうございました」と話されました。





## 各事業所等のボランティアを受けました

### 沼田ライオンズクラブ



25個の大型プランターを、暮らしの安心センター、パークゴルフ場など6か所に設置していただきました。

### 沼田町赤十字奉仕団



旧沼田厚生クリニック前の町道植樹帯にマリゴールドなど、約600本の色とりどりの花を植えていただきました。

### 日本緑化中村株式会社



町民パークゴルフ場・暮らしの安心センターにサルビア、マリーゴールド等のプランターを約80個寄贈いただきました。

### 北竜老人クラブ



本願寺駅通の窓ふきや床のほうきがけなど、1年間溜まった汚れを落としていただきました。

### 深川更生保護女性会の会員



約300本の花を準備して、就業支援センターの花壇に花を植えていただきました。

### 富岡産業株式会社（深川市）



沼田町市街から町民野球場付近に向かって、草刈りボランティアをしていただきました。



# 北空知広域水道企業団からのお知らせ

北空知広域水道企業団は、深川市、沼田町、秩父別町、北竜町、妹背牛町に水道用水を供給する一部事務組合です。企業団では毎年、条例に基づき財政の状況を公表しています。今回は、令和4年度の事業と経理の内容、令和5年度の事業計画と予算の概要についてお知らせします。

## 令和4年度の事業と経理の概要及び令和5年度の事業計画と予算の概要

令和4年度の年間水道用水供給実績は3,110,596 m<sup>3</sup> (1日平均8,522 m<sup>3</sup>) となり、前年度と比較して22,858 m<sup>3</sup> (1日平均62 m<sup>3</sup>) 増加しました。

令和5年度の年間予定供給量は3,050,000 m<sup>3</sup> (1日平均8,333 m<sup>3</sup>) とし、施設運転・保守管理を中心とした収益的収支と施設・設備の更新を中心とした資本的収支の予算額は下表のとおりです。

### 令和4年度 北空知広域水道企業団 水道用水供給事業会計試算表

令和5年3月31日現在

借 方		貸 方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
固定資産	60億5,027万6千円	固定負債	8億4,011万4千円
流動資産	4億5,667万6千円	流動負債	7,360万4千円
		資本金	39億4,759万6千円
		剰余金	1億9,384万円
		繰延収益	14億5,179万8千円
計	65億695万2千円	計	65億695万2千円
営業費用	4億7,362万9千円	営業収益	3億9,146万1千円
うち減価償却費	(2億1,928万5千円)	営業外収益	6,249万8千円
営業外費用	603万5千円	特別利益	304万1千円
特別損失	16万9千円	当年度純損失	2,283万3千円
合 計	69億8,678万5千円	合 計	69億8,678万5千円

### 令和5年度 北空知広域水道企業団 水道用水供給事業会計予算表

	収益的収支	資本的収支
収入	4億8,725万9千円	5,482万9千円
支出	5億4,008万2千円	2億8,360万3千円
差引	▲5,282万3千円	▲2億2,877万4千円



収益的収支の収入額が支出額に不足する額5,282万3千円は、剰余金で補てんします。また、資本的収支の収入額が支出額に不足する額2億2,877万4千円は、損益勘定留保資金などで補てんします。

※収益的収支とは、水をつくり、ご家庭に水をお届けするための収支を表したものです。

資本的収支とは、配水池の建設や配水管の整備などに使用するための収支を表したものです。

#### ◆お問合せ先

〒078-2222 沼田町字沼田 1248 番地の 1

北空知広域水道企業団 (☎ 35-1878 / FAX 35-2782)

ホームページも是非ご覧下さい <http://www.kitasorasui.or.jp/>

# 町の財政状況公表（令和4年度下半期）

この説明書は、みなさんから納めていただく税金や国・道からの補助金がどのように使われているかをお知らせし、町財政の実態と施策にご理解をいただくため年2回定期的に公表を行っているものです。

今回は、一般会計のほか特別会計の令和4年度下半期の財政運営の状況や町税の負担状況、基金及び借入金（町の借金）の状況、また、公営企業の経理状況についてその概要をお知らせします。

なお、今回掲載しました町の財政状況については、役場総務財政課で閲覧することができます。

## 一般会計

令和4年度下半期（10月～3月）における主な補正としては、住民税非課税世帯に対する給付金の計上や町道除雪委託料の増額計上を行いました。

また、町債（町の借金）の繰上償還を実施し、将来の町民負担軽減を図りました。

期間中総額 3億2,554万円の増額補正を行い、3月末における予算額は63億3,729万円となりました。

翌年度への繰越事業費として、高齢者住宅整備事業、農地利用等効率化支援事業、沼田小学校及び中学校の空調整備事業、計2億3,195万円を予算調製しております。

### ●歳入

区 分	当初予算額	上半期における補正額	下半期における補正額	予 算 額	構成比 (%)
町 税	3億1,091万円	-	△407万円	3億684万円	4.8
地方譲与税	5,729万円	-	459万円	6,188万円	1.0
利子割交付金	10万円	-	4万円	14万円	-
配当割交付金	20万円	-	80万円	100万円	-
株式等譲渡所得割交付金	10万円	-	70万円	80万円	-
地方消費税交付金	6,500万円	-	1,488万円	7,988万円	1.3
ゴルフ場利用税交付金	100万円	-	△4万円	96万円	-
環境性能割交付金	600万円	-	△83万円	517万円	0.1
国有提供施設等 所在市町村助成交付金	900万円	-	88万円	988万円	0.2
地方特例交付金	100万円	-	35万円	135万円	-
地方交付税	23億5,500万円	△3,871万円	2億5,760万円	25億7,389万円	40.6
交通安全対策特別交付金	10万円	-	△10万円	-	-
分担金及び負担金	1億986万円	1,679万円	△671万円	1億1,994万円	1.9
使用料及び手数料	8,340万円	-	△19万円	8,321万円	1.3
国庫支出金	3億6,986万円	1億2,905万円	6,746万円	5億6,637万円	8.9
道 支 出 金	3億6,591万円	5,819万円	△216万円	4億2,194万円	6.7
財 産 収 入	5,023万円	-	216万円	5,239万円	0.8
寄 附 金	3億120万円	-	△2,224万円	2億7,896万円	4.4
繰 入 金	7億860万円	4,209万円	△1億4,234万円	6億835万円	9.6
繰 越 金	500万円	9,539万円	-	1億39万円	1.6
諸 収 入	1億9,714万円	425万円	1億7,374万円	3億7,513万円	5.9
町 債	6億7,010万円	3,470万円	△2,110万円	6億8,370万円	10.8
法人事業税交付金	300万円	-	212万円	512万円	0.1
計	56億7,000万円	3億4,175万円	3億2,554万円	63億3,729万円	100.0

下半期における歳入の予算補正は、地方交付税等一般財源の増額及び歳出における事業費の減額に伴う基金繰入金等特定財源の減額による充当財源整理が主な内容です。

## ●歳出

区 分	当初予算額	上半期にお ける補正額	下半期にお ける補正額	予 算 額	構成比 (%)
議 会 費	4,886 万円	6 万円	△ 79 万円	4,813 万円	0.8
総 務 費	10 億 4,178 万円	1 億 5,764 万円	△ 7,298 万円	11 億 2,644 万円	17.8
民 生 費	7 億 5,908 万円	2,715 万円	△ 2,897 万円	7 億 5,726 万円	12.0
衛 生 費	2 億 1,973 万円	4,982 万円	△ 504 万円	2 億 6,451 万円	4.2
労 働 費	1 万円	-	-	1 万円	-
農林水産業費	5 億 4,410 万円	7,908 万円	△ 1,279 万円	6 億 1,039 万円	9.6
商 工 費	1 億 6,741 万円	55 万円	429 万円	1 億 7,225 万円	2.7
土 木 費	6 億 7,272 万円	34 万円	1,862 万円	6 億 9,168 万円	10.9
消 防 費	1 億 6,943 万円	127 万円	△ 24 万円	1 億 7,046 万円	2.7
教 育 費	7 億 3,397 万円	971 万円	5,495 万円	7 億 9,863 万円	12.6
公 債 費	3 億 4,683 万円	-	6,101 万円	4 億 784 万円	6.4
諸 支 出 金	3 億 2,168 万円	1,613 万円	3 億 1,050 万円	6 億 4,831 万円	10.2
職 員 費	6 億 4,278 万円	-	△ 302 万円	6 億 3,976 万円	10.1
災 害 復 旧 費	62 万円	-	-	62 万円	-
予 備 費	100 万円	-	-	100 万円	-
計	56 億 7,000 万円	3 億 4,175 万円	3 億 2,554 万円	63 億 3,729 万円	100.0

下半期における歳出の予算補正は、財政の安定を図るための町債の繰上償還元金の計上、事業完了による不用額の減額補正が主な内容です。

### 下半期における予算補正の主な内容

(単位：万円)

区分	補正額	補 正 額 の 主 な 内 容
議 会 費	△ 79	議員活動費の減
総 務 費	△ 7,298	しごと・未来応援プロジェクト事業の減、地域おこし協力隊活動経費の減、ふるさと納税関連経費の減、NumaCa 行政ポイント付与事業の減、沼田町特産品開発事業（クラフトビール）の減、住んで快適住まいる応援奨励金の減、ぬまたライフサポート事業の減、光ファイバー管理経費の減
民 生 費	△ 2,897	高齢者等温泉入浴促進事業の減、高齢者世帯等除雪費助成事業の減、デイサービスセンター指定管理委託料の減、北空知こども療育センター負担金の減、保育士等処遇改善臨時特例事業補助金の減
衛 生 費	△ 504	各種検診・予防接種委託料の減、暮らしの安心センター運営経費の減
農林水産業費	△ 1,279	各種農業総合対策事業補助金の減、ぬまたアグリファーム運営事業の減、農産加工場管理費の減、就農支援実習農場運営費の減
商 工 費	429	原油価格・物価高騰対策補助金の増、魅力アップぬまた活性化支援事業の増、沼田町商工業活性化サポート事業の減
土 木 費	1,862	町道除雪委託料の増、公共下水道特別会計繰出金の増
消 防 費	△ 24	防災対策費の減
教 育 費	5,495	小学校維持管理経費の増、中学校維持管理経費の増、スキー場管理経費の増、小学校空調整備事業の計上、中学校空調整備事業の計上
公 債 費	6,101	長期債繰上償還元金の計上
諸 支 出 金	3 億 1,050	基金積立（財政調整基金の増、ふるさとづくり基金の減、移住定住応援基金の増、JR 留萌本線代替輸送確保・跡地整備等推進基金の計上）
職 員 費	△ 302	職員給与費の減
計	3 億 2,554	※それぞれの予算の不用となった額を減額補正しております。



## 特別会計

特定の事業に使われる経費を一般の歳入歳出と区分して経理する会計です。

会計別	当初予算額	上半期における補正額	下半期における補正額	予算額
養護老人ホーム	3億2,341万円	2,289万円	1,195万円	3億5,825万円
特別養護老人ホーム	3億9,617万円	491万円	△655万円	3億9,453万円
高齢者グループホーム	5,065万円	127万円	△381万円	4,811万円
介護保険	3億8,572万円	2,275万円	△6,398万円	3億4,449万円
国民健康保険	5億1,264万円	△346万円	△4,820万円	4億6,098万円
後期高齢者医療	7,295万円	108万円	△495万円	6,908万円
公共下水道	1億7,234万円	35万円	△1,217万円	1億6,052万円
合計	19億1,388万円	4,979万円	△1億2,771万円	18億3,596万円

## 公営企業会計

地方公営企業とは、地方公共団体が地域住民の福祉の増進を目的として経営する企業です。

会計名	区分	当初予算額	上半期における補正額	下半期における補正額	予算額	
水道事業会計	収益的	収入	1億4,097万円	2,300万円	635万円	1億7,032万円
		支出	1億4,097万円	2,300万円	635万円	1億7,032万円
	資本的	収入	7,560万円	1,840万円	△710万円	8,690万円
		支出	8,532万円	1,864万円	△665万円	9,731万円



特別会計と公営企業会計は、税、使用料、負担金、国、道支出金のほか一般会計からの繰入金等で運営がなされ、効率的運用に努めています。

## 町税の負担状況

人口2,847人（令和5年3月末）

税区分	予算額 (万円)	構成比 (%)	町民1人 あたり(円)
町民税	1億4,672	47.8	51,535
固定資産税	1億2,316	40.1	43,260
軽自動車税	1,079	3.5	3,790
たばこ税	1,822	6.0	6,400
入湯税	795	2.6	2,792
合計	3億684	100.0	107,777

## 基金の状況

（令和4年度末現在高）

基金（一般会計） 34億2,900万円	
・財政調整基金	4億9,075万円
・減債基金	6億6,054万円
・振興基金	8億5,718万円
・ふるさとづくり基金	4億4,970万円
・みどりの景観等保全基金	1,856万円
・自動車学校基金	46万円
・移住定住応援基金	1万円
・社会福祉基金	3,063万円
・農業振興基金	1億6,210万円
・農地流動化基金	1,671万円
・企業等誘致推進基金	4,991万円
・商工観光振興基金	5,012万円
・スコール基金	1,670万円
・青少年スポーツ文化振興基金	249万円
・地域医療確保安定化基金	3億2,847万円
・学校教育振興基金	1億216万円
・農業者人材育成基金	376万円
・奨学資金貸付基金	375万円
・JR留萌本線代替輸送確保・跡地整備等推進基金	1億8,500万円

## 借入金の状況（一般会計）

（単位：万円）

令和3年度末 現在高	令和4年度中		令和4年度末 現在高
	元金償還額	新規借入額	
30億431	3億9,811	5億5,940	31億6,560



# 深川警察署

# 沼田警察庁舎あんぜん広場

☎ 35-3110



## 令和5年度（第2回）

### 北海道警察官採用試験に向けた採用募集活動の推進

### 北海道警察官募集中「あなたにしかできない仕事がある」

- 募集期間：令和5年7月1日から同5年8月18日
- 試験日程：第一次試験 令和5年9月17日
- 採用予定：200名程度 男性A区分 35名程度、男性B区分 115名程度  
女性A区分 15名程度、女性B区分 35名程度
- 受験資格：【学歴】 A区分～学校教育法による大学（短期大学を除く。）等を卒業した者  
（令和6年3月末日までに卒業見込みの者を含む。）  
B区分～A区分以外の者  
【年齢】平成3年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた者

## 夏休みにおける少年の非行・犯罪被害防止と有害環境の浄化 考えて 大切な 自分の未来

- SNSなどの「闇バイト」「裏バイト」に注意！特殊詐欺や強盗などの犯罪に加担しない！  
軽はずみな行動が重大犯罪に！
  - ・SNSなどで募集されている高額アルバイトは、重大な犯罪に加担させられるおそれがあります。楽をして大金を稼げるアルバイトは存在しません。
  - ・自身の顔写真や住所等を募集者に送ってしまうと、「家に行く」「家族に危害を加える」などと脅されて、逮捕されるまでやめられません。
  - ・闇バイトから抜け出せない、脅されている、申し込んでしまった。そんなときはすぐに警察に相談を！
- 大麻は脳に影響を与える違法な薬物です！
- 万引きは犯罪！
- お酒やたばこは20歳になってから！
- インターネットの世界は危険がいっぱい！
  - ・自分自身を守るための3つの約束
    - 1 出会いを求める内容を書き込まない！
    - 2 個人情報や写真は掲載しない！
    - 3 ネットで知り合った人とは会わない！

## 犯罪の発生状況（令和5年6月末現在）

町内における犯罪件数

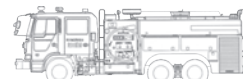
	侵入盗	非侵入盗	粗暴犯	わいせつ犯	その他	合計
令和5年	1	2	0	0	0	3
令和4年	1	2	1	0	2	6

## 交通事故の発生状況（令和5年6月末現在）

町内における交通事故件数

人身事故		物損事故	
令和5年	0	令和5年	18
令和4年	0	令和4年	19

詐欺電話が来たら、「#9110」まで、ご相談ください。



## ルールを守って楽しい花火を！

夏の風物詩と言えば「花火」。子供たちにとっても楽しみな季節となりました。しかし、遊び方を誤ると気軽に楽しめる花火も、火災ややけどなどの事故につながりかねません。花火をするときは、次のポイントを守って、楽しい夏の思い出にしましょう！

### 花火を安全に遊ぶポイント

- 1 風の強いときは花火をしない
- 2 燃えやすいものがなく、広くて安全な場所を選ぶ
- 3 子供だけでなく大人と一緒に遊ぶ
- 4 説明書をよく読み、注意事項を必ず守る
- 5 水バケツを用意し、使った花火は必ず水につける



## 「災害は突然発生する！！」 ～日頃から災害への備えはしていますか？～

自然災害は、時として想像を超える力で襲ってきます。しかし、日頃から防災対策をしておくことで被害を少なくすることはできます。防災対策で大切なことは、自分の身の安全を守るために日頃の備えと心構えをすることです。町民一人一人が防災のしおりを理解し防災対策を万全にし、災害に備えましょう。

### 【災害に対する日頃の備え】

#### 1 防災情報の確認

- ・防災無線、テレビ、ラジオ等で気象予警報、情報及び防災上の注意事項をよく聞いてその内容に応じた対策を立てる
- ・全戸に配布されている「防災のしおり」で危険箇所や避難所の場所を日頃から確認する

#### 2 非常時持ち出し品の準備

- ・貴重品（現金等）、飲料水、食料、懐中電灯、救急セット、衣類（長袖等）などを準備しておく

#### 3 建物周囲や屋内の点検・整理

- ・建物周囲にある風に飛ばされそうなものは固定するか屋内に片付ける。また、屋内の家具にも転倒防止対策をする

#### 4 家族の安否確認の方法を決める

- ・別々の場所にいるときに災害が発生することを想定して、お互いの場所を話し合う



◀ QRコードからも  
防災のしおりを  
確認いただけます

各家庭で「防災のしおり」を活用し、迅速な避難ができるよう話し合っておきましょう！！

沼田町  
防火標語

住宅用火災警報器は 10 年を目安に点検・交換しましょう。

『声かけよう みんなで確認 防火の輪』





## 後期高齢者医療制度のお知らせ ～令和5年度の保険料について～

■令和5年度の保険料につきましては、7月中に個別にお知らせします。

《保険料の計算方法》

均等割

【1人当たり保険料】  
51,892円

+

所得割

【本人の所得に応じた額】  
(令和4年中の所得－最大43万円)  
×10.98%

=

1年間の保険料  
【限度額66万円】  
(100円未満切捨)

○1年間の保険料の上限額は、令和5年度は66万円です。

○年度の途中で加入したときは、加入した月からの月割で計算します。

※「所得」とは、前年の「収入」から必要経費（公的年金等控除や給与所得控除額など）を引いたものです。

※前年の所得金額により、43万円の控除額が異なる場合があります。

### ◆ 保険料の軽減

《均等割の軽減（年額）》

世帯の所得により計算し、7割軽減、5割軽減、2割軽減となります。

- 軽減は被保険者と世帯主の所得の合計で判定します。
- 被保険者ではない世帯主の所得も判定の対象となります。
- 65歳以上の方の公的年金等に係る所得については、さらに15万円を引いた額で判定します。

対象者の所得要件 (世帯主及び世帯の被保険者全員の軽減判定の所得額)	均等割りの軽減割合
	令和5年度
(43万円+10万円)×(給与所得者等の数-1) 以下の世帯	7割
43万円+(29万円×世帯の被保険者数) +10万円×(給与所得者数の数-1)以下の世帯	5割
43万円+(53.5万円×世帯の被保険者の数) +10万円×(給与所得者数の数-1)以下の世帯	2割

※保険料の詳しい計算方法については、個別に郵送する納入通知書をご覧ください。

◆お問合せ先 保健福祉課保険グループ 電話35-2120

# キャンプのすごい教育効果

夏はキャンプに最適な季節ですね。山や海で家族や友人と楽しく過ごすことのできるキャンプですが、実は教育効果が非常に高いことが知られています。

## キャンプの教育効果

### ①「チャレンジ精神」を養う

自然の中でのキャンプは挑戦の連続です。非日常の間での成功・達成が人の自己肯定感を高めてくれます。



### ②「コミュニケーション能力」を養う

キャンプでの作業の多くは集団作業です。普段異なる集団に属している人も自然を前にした時には、同じ目標に向けて協力して努力しなければなりません。そんな場面ではコミュニケーション能力が必須となります。

### ③「環境への意識」を養う

誰でも「自然を大事にしなければならない」と漠然と思っはいますが、その自然の中での活動はその意識をさらに具体的な思いや行動につなげる効果があります。

これらは普段の生活でも養えるものですが、キャンプにおいてより効果的に身に付けることができます。

また、キャンプ等の自然体験活動をたくさん行った青少年は、課題解決能力や豊かな人間性など「生きる力」が高い傾向にあると言われています。

## キャンプについて気になった方におススメ！

### ①自然体験事業（環境学習プログラム／デイキャンプ／宿泊キャンプ）

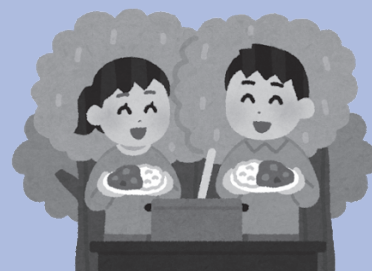
今年4月より実施している教育委員会とそらち自然学校のコラボ事業です。

8月は、3日（木）デイキャンプと4日（金）～6日（日）宿泊キャンプを行います。

昨年は新型コロナウイルスの影響で残念ながら中止となりましたが、今回はさらに内容をパワーアップして実施する予定です。（申込期限：7/19(水)）

### ②そらち自然学校の公式ホームページをチェック！

そらち自然学校ではたくさんの自然体験イベントを行っています。



お問い合わせ…沼田町教育委員会教育課（電話 35-2132）

○教育委員会「ブログ」随時更新中○ URL: <https://blog.canpan.info/numakyoui/>



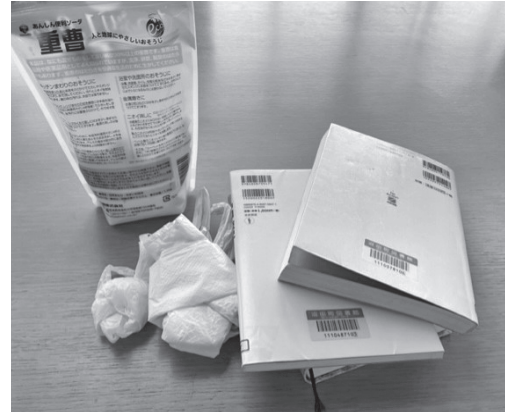
本の汚損のなかのひとつに、本のおいがあります。  
タバコのおいなど強くついている本は、借りる方も気になったことがあると思います。

本が図書館に返却されたとき、図書館では本の中にはさまっているものがないか汚れがないかページをめくって確認します。そのときに、タバコのおいが強いなと感じた場合には重曹を使った消臭をしています。

新聞紙や袋などで包んだ本を重曹が入った袋に入れて数日から一週間ほど置いておくと、完全ではありませんがにおいは薄くなります（本を袋で包む場合はにおいがこもらないように袋の口を開けて重曹の入った袋に入れていきます）

重曹を使うのはかなり強いにおいのおいですが、少し気になる程度のおいであれば、風通しの良いところに干すだけでも取れるので虫干しで対応することもあります。

図書館で消臭作業をしなければならない程の本はあまりないのですが、ごくたまにおい強い本があったときはこのような形で消臭しています。この消臭方法は家庭でも手軽にできるので、自宅にある本でにおいが気になる本があればぜひ試してみてください。



## 新刊図書

### 《一般書》

たらしの城	佐々木 功
とりどりみどり	西條 奈加
たりる生活	群 ようこ
農協のフィクサー	千本木啓文
やさしさを忘れぬうちに	川口 俊和
みんなのどんぶり食堂	杏耶
暮らしに寄りそう庭づくり新しい植物図鑑	松田 行弘

### 《児童書》

マンボウ、空を飛ぶ	吉野万理子
七つの石の物語	小手鞠い
ないしょだよ	たかだしんいち
リジーと雲	テリー・ファン
だいじょうぶ！いちねんせい	大木あきこ
Oh！金の学校	あんびるえつこ

## 新刊図書おすすめ!!



『北海道の図書館員が薦めるブックガイド』  
監修：野口武悟、青木竜馬  
編著：加藤重男  
中西出版

北海道の図書館を紹介した一冊です。それぞれの市町村を知るうえでおすすめの本の紹介や、コラム、図書館員のインタビューなど盛りだくさんの内容となっています。道内にある様々な図書館を知ることができる本なので、読むだけでなく本を片手に図書館巡りをするのもおすすめです。

沼田町図書館もインタビューとして大きく扱われているので、ぜひ一度手に取って見てみてください！

## 家から図書館の本を検索しよう

図書館にある本をインターネットで検索できます。検索は、下記のURLかQRコードからどうぞ。  
[http://opac-numata.lib-wa.net/web\\_opac/simple\\_search.php](http://opac-numata.lib-wa.net/web_opac/simple_search.php)

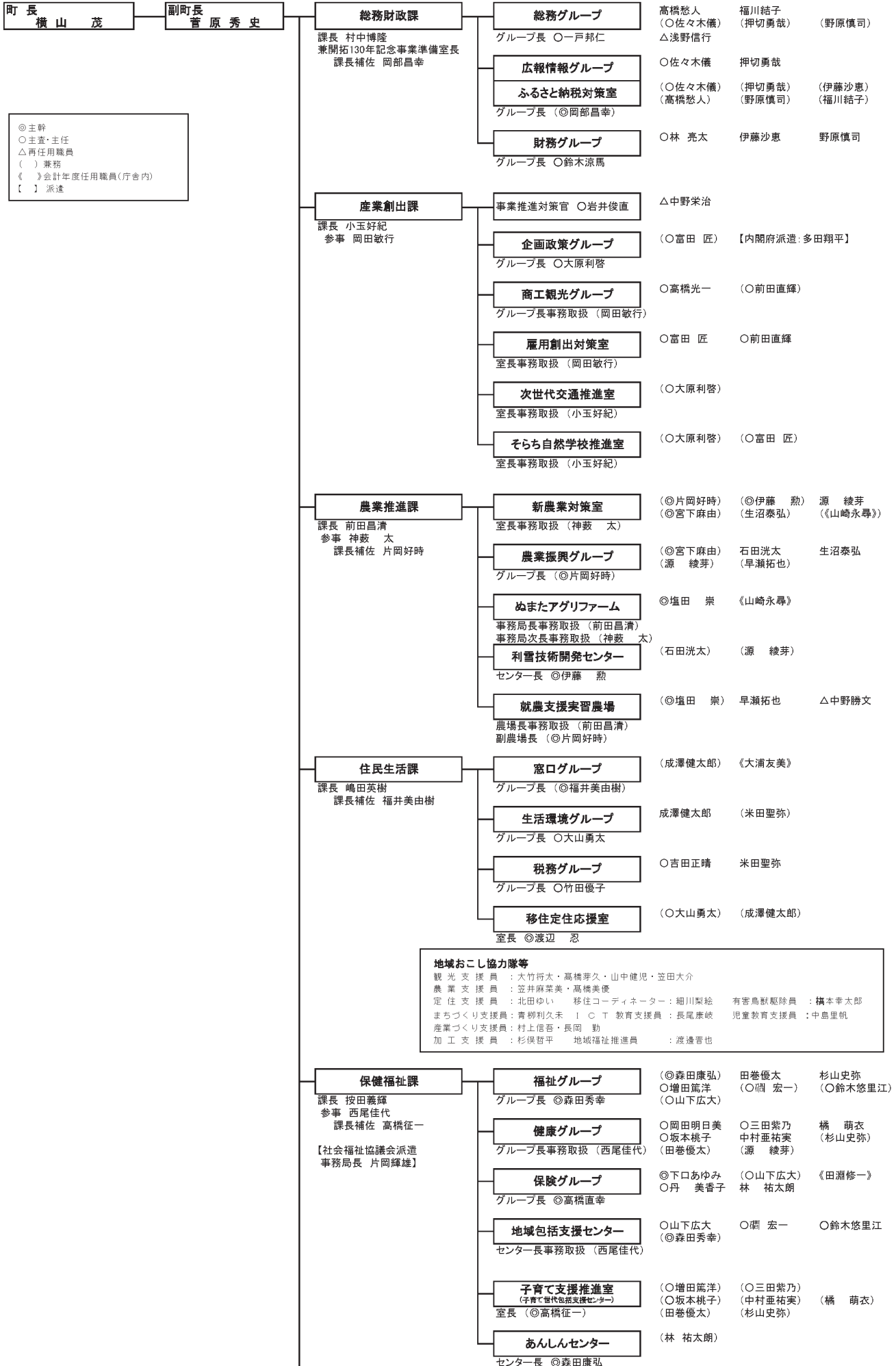




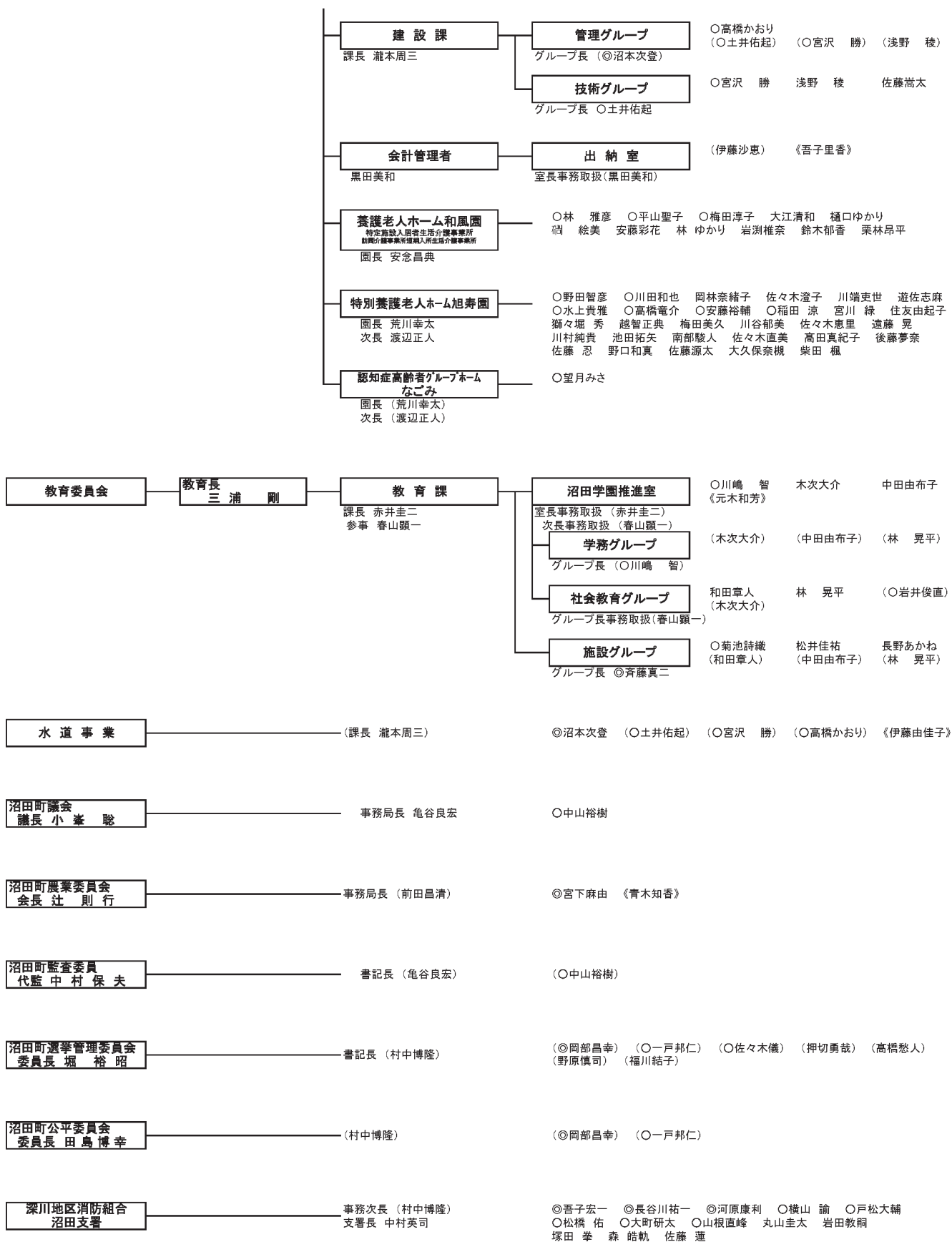
沼田町役場機構図

沼田町機構図

令和5年7月1日現在



# 沼田町役場機構図



※拡大した機構図をお求めの方は、  
総務財政課までお問合せください。



# 元環境大臣 原田よしあき ふるさと講演会 「政治家の力、弁護士の技」～ふるさと沼田町と私～

沼田町芸術文化鑑賞事業（主催 教育委員会）として、元環境大臣の原田義昭氏をお招きし、ふるさと講演会「政治家の力、弁護士の技～ふるさと沼田町と私～」を6月23日（金）町民会館で開催しました。

元環境大臣、国際弁護士としてご活躍されている原田氏は一時期、浅野地区の小学校に通っていた縁でこの度講師として沼田町を訪れました。

会場には、原田氏の講演を聞くために町内外から約230名が来場し、沼田町に住まわれていた時の話や国際問題、日本の政治のこれからなど幅広く普段聞くことのできない貴重な講演をしていただきました。



## 6月1日着任 地域おこし協力隊

ながおか つとむ  
**長岡 勤さん**

神奈川県小田原市出身で熱帯魚飼育が趣味の長岡さんは、産業創出課所属の産業づくり支援員として活動しています。

今後、沼田町に新たな産業となるものをつくり出せるよう、様々な活動をしてまいります。



### 人の動き

(令和5年6月30日現在)

人口 2,854人 (前月比 △4人)  
男性 1,358人 (前月比 △5人)  
女性 1,496人 (前月比 1人)  
世帯数 1,447世帯 (前月比 0世帯)

#### ■総人口増減内訳

増加) 転入: 3人 出生: 4人  
減少) 転出: 4人 死亡: 7人

### 交通事故死ゼロ

(令和5年6月30日現在)

**4,009日継続中!!**

出生児	誕生月日	保護者の名前
植松 零	5月26日	恭平さん・華奈さん
植木 蒼	6月14日	慎吾さん・晶絵さん
岡本結奈	6月19日	安正さん・佳世さん
小柳日夏梨	6月23日	健吾さん・真里さん

### うぶごえ

氏名	性別	誕生月日	死亡月日	年齢	住所
安立 英次	男	6月6日	6月6日	86歳	市内5
大山や子	女	6月8日	6月8日	91歳	北竜3
吉村 博	男	6月10日	6月10日	48歳	南町
大西 俊晴	男	6月14日	6月14日	84歳	東予
酒井 義榮	男	6月19日	6月19日	84歳	仲町東
大沼 幸雄	男	6月20日	6月20日	93歳	市内4